

農場から航空宇宙まで、世界最大級の認証機関です。

インターテック・サーティフィケーションは、JGAP、ASIAGAP及びGLOBALG.A.P.の認証機関です。各種GAP認証をはじめ、ISOマネジメントシステム等、農業から航空宇宙までの分野をカバーする世界最大級の認証機関として、UKAS（英国）等からインターテック・グループが取得したすべての認定に基づき、あらゆる産業分野にわたる幅広い認証サービスを巨大な多国籍組織から小規模組織まで全世界で約30,000社のお客様に提供しています。みなさまの理想的なビジネスパートナーとして、未来に革新と付加価値をもたらす効果のある審査サービスを提供いたします。

会社概要

商号 インターテック・サーティフィケーション株式会社
所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4階
営業品目 ISO 9001/ISO 14001/ISO 27001/ISO 45001/IATF 16949/ISO 13485/
ISO 39001/ISO 22000/FSSC 22000/JGAP/ASIAGAP/GLOBALG.A.P./
JISマーク表示制度(JIS A 5308)/MSC CoC/ASC CoC/FSC® CoC/温室効果ガス排出量検証/
POSI(感染症拡大防止)認証プログラム/テキスタイルエクステンジ認証<RCS、GRS、OCS>、
GOTS認証/ISCC PLUS、ISCC EU、ISCC CORSIA認証 など
【CSR監査(サプライヤー監査)】 Intertek 独自規格<WCA、SQP、MQP、TQP、TGI、ECM、GSV>
及びカスタマイズ規格、SMETA<2P/4P>、BSCI、ICS、RBA、SA8000、ICTI、WRAP、
衛生検査 など
【研修・セミナー】ISO 9001/ISO 14001/ISO 45001 審査員養成コース(IRCA認定)・
内部監査員養成コース、JGAP審査員研修、その他の各種研修コース・セミナー など

インターテックについて

私たちインターテックは世界中で幅広い産業分野の品質を支えるリーディングカンパニーです。審査、検査、試験、トレーニング、アドバイザリー、品質保証、認証業務を通じて、あらゆるお客様の製品やプロセス、資産に付加価値を提供します。また、1,000ヶ所を超える試験所やオフィス、100ヶ国以上で勤務するスタッフ40,000人のネットワークを活かし、グローバルな市場でお客様の成功をサポートします。そして、私たちは世界中の市場でお客様の期待に安全で継続的に、実行力を持って誠実にお応えします。詳しくは www.intertek.com (英文)まで

intertek
Total Quality. Assured.

インターテック・サーティフィケーション株式会社

■ 東京事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4階
TEL.03-4510-2779 (担当部門) 03-4510-2752 (営業部直通) FAX.03-6432-4040
E-mail:info.ba-japan@intertek.com

■ 大阪事務所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5階
TEL.06-6150-0571 FAX.06-6150-0575
E-mail:info.ba-osaka@intertek.com

■ URL <https://ba.intertek-jpn.com/>

GAP

Good Agricultural Practice

農業生産工程管理

intertek
Total Quality. Assured.

TOTAL QUALITY.
ASSURED.

インターテック・サーティフィケーション株式会社

**GAPは、食の安全や環境保存に取り組む農場に
与えられる認証です。**

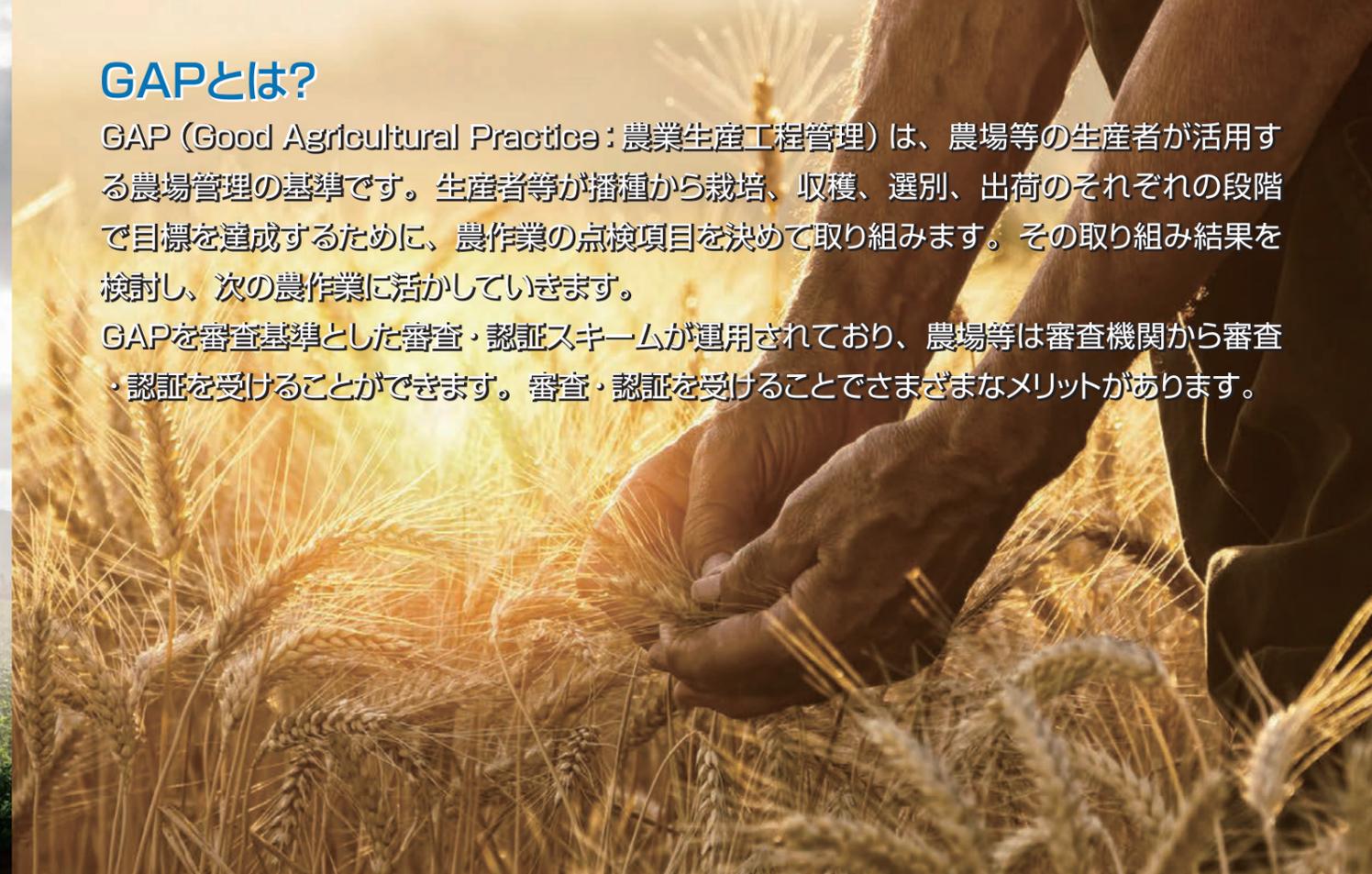
**インターテック・サーティフィケーションは、
認証を通して「魅力的な農場づくり」の
お手伝いをします。**



GAPとは?

GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) は、農場等の生産者が活用する農場管理の基準です。生産者等が播種から栽培、収穫、選別、出荷のそれぞれの段階で目標を達成するために、農作業の点検項目を決めて取り組みます。その取り組み結果を検討し、次の農作業に活かしていきます。

GAPを審査基準とした審査・認証スキームが運用されており、農場等は審査機関から審査・認証を受けることができます。審査・認証を受けることでさまざまなメリットがあります。



GAPは大きく2種類があります。

【1】日本発祥のGAP

●日本の農業に合わせた規格:「JGAP」

日本の農業生産環境や社会環境に合わせて開発された、国内で最も普及している標準的なGAP認証制度です。

- ・ 多角的な管理項目: 食品安全、環境保全、労働安全に加え、人権の尊重など、農場運営の適正化に必要な視点を網羅しています。
- ・ 普及の現状と信頼: 日本発祥のGAPの登録数は合計で6,750農場(2025年3月末時点)に達しています。特に青果物の認証取得が加速しており、多くのステークホルダーから「信頼できる農場の証」として強く支持されています。

●JGAPのアドオン規格:「+SA」

JGAPに「持続可能な農業(Sustainable Agriculture)」の視点を追加するアドオン(付加)規格です。

- ・ 世界基準の証明: JGAPと「+SA」を組み合わせることで、国際団体SAI Platformが運営する「FSA」規格のシルバーレベル相当として認められ、グローバルな持続可能性の基準を満たしていることを客観的に証明できます。
- ・ 市場価値の向上: 温室効果ガスの低減配慮や透明な商取引など、より高度な社会的責任を重視するステークホルダーの期待に応え、農場の信頼と評価をさらに高めることが可能です。

【2】海外発祥のGAP(GLOBALG.A.P.)

ドイツに本部を置く、世界130カ国以上で活用されている国際的な審査・認証スキームです。

- ・ グローバルな競争力: 欧州をはじめとする海外輸出や、世界規模のサプライチェーンを持つ企業との取引において、国際基準を満たしていることを証明する「国際パスポート」としての役割を果たします。

適切な農場管理のための **5**つのテーマ



5つのテーマを実現するために、押さえるべき農場管理のポイントをまとめたものが、GAPです。

農場生産者にとってGAP認証取得のメリットとは?

『農場管理の標準化』

GAPを導入すると農場管理が標準化され、効率的になります。同時に、農場経営の様々なリスクを軽減することができます。

『信頼できる農場』

GAP認証を得ることで、信頼できる農場であることを、農産物バイヤーをはじめ社会全体へアピールすることが可能です。

『安定的な取引へ』

農産物バイヤーとの間で、信頼に基づく安定的な取引関係を築くために利用できます。

『農産物の輸出で有利』

農産物を輸出しようとする欧州の農業管理基準であるGLOBALG.A.P.の認証取得を求められる場合があります。